

2022年8月31日

各位

会社名 シンバイオ製薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 吉田 文紀
 (コード番号: 4582)
 問合せ先 IR室 (TEL.03-5472-1125)

執行役員の選任に関するお知らせ

2022年8月30日開催の当社臨時取締役会において、下記のとおり執行役員の選任（予定）が決議されましたのでお知らせいたします。

記

1. 執行役員の選任について

2022年10月1日付で、執行役員兼グローバルBCV^(注)事業本部長として、馬場継氏を選任いたしました。

今般、グローバルBCV事業本部を新設し、研究開発から商業化のシームレスなプロセスを構築することにより、より機動的なグローバル事業の展開を目指します。

吉田文紀社長兼CEOは、「当社にとり、BCVの開発・商業化の成功は事業のグローバル化を意味し、この度、グローバルBCV事業本部を新設し一貫体制を構築することで、事業のグローバル化に向けて強固な推進力を期待します。」と述べております。

(1) 新任執行役員

氏名	役職
馬場 継 (ばんば けい)	執行役員兼グローバルBCV事業本部長

(2) 就任年月日

2022年10月1日

(3) 新任執行役員の略歴

略歴	年月	職務
	1999年4月	ファイザー株式会社入社 医薬営業部門を皮切りにエスタブリッシュ医薬品事業部門マーケティングエクセレンス部長等を歴任
	2013年11月	日本イーライリリー株式会社 バイオ医薬品事業部門マーケティング部長
	2017年3月	ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社 イノベーティブメディシン事業部門東海・北陸営業部長
	2018年7月	グラクソ・スミスクライン株式会社 執行役員スペシャリティケア事業部 事業本部長
	2020年4月	アムジェン株式会社入社 執行役員 エグゼクティブディレクター スペシャリティケア事業本部本部長
	2022年10月	シンバイオ製薬株式会社入社 執行役員兼グローバルBCV事業本部長 就任予定

【注：抗ウイルス薬ブリンシドフォビル (brincidofovir : BCV) 概要】

BCVは欧米では既承認のシドフォビル (cidofovir : CDV、本邦は未承認) の脂質結合体として新しい作用機序を持ち、CDV及び他の抗ウイルス薬と比べて高活性の抗ウイルス効果など優れた特徴を併せ持ち、広範囲の2本鎖DNAウイルス感染症(サイトメガロウイルス、アデノウイルス、エプスタイン・バー・ウイルス、ヘルペスウイルス、BKウイルス、パピローマウイルス及び天然痘ウイルス等)に対して有効な治療方法となり得るものと期待されている。BCV分子の画期性は、CDVに特定の長さの脂肪鎖を結合することにより細胞内への取り込み効率を飛躍的に向上させ、細胞内で直接作用する分子に変換され高い抗ウイルス効果を発揮する。更には、CDVを初めとする他の抗ウイルス薬に比べ深刻な副作用である腎毒性または骨髄抑制を回避できる新規の高活性の抗マルチウイルス薬として期待されている。

2019年9月、シンバイオは、Chimerix, Inc. (本社：米国ノースカロライナ州、「キメリックス社」)との間で、BCVに関しての天然痘やサル痘等のオルソポックスウイルスを除いたすべての疾患について世界全域を対象として、開発・販売・製造を含めた独占的権利の取得を目的とするライセンス契約を締結した。

現在、シンバイオは、2030年にグローバル・スペシャリティファーマを目指す事業展開を推進しており、事業価値の最大化を図るべく、造血幹細胞移植後のアデノウイルス感染症患者を対象として、米国を中心に国際共同第Ⅱ相臨床試験を実施中であり、加えて2022年6月には、腎移植後BKウイルス感染症患者を対象としたオーストラリア、日本、韓国を中心とした国際共同第Ⅱ相臨床試験を開始した。

また、BCVは、高い抗ウイルス作用に加え、抗腫瘍効果も期待されており、現在、シンガポール国立がんセンター、カリフォルニア大学サンフランシスコ校、米国ブラウン大学との共同研究を進めており、抗がん活性の確認及び抗ウイルス活性と合わせることによる相乗効果を確認するための試験を進めている。一方、米国の国立衛生研究所 (NIH: National Institute of Health) / 国立神経疾患・脳卒中研究所 (NINDS: National Institute of Neurological Disorders and Stroke) との共同研究を通じて多発性硬化症の試験を開始した。

以上